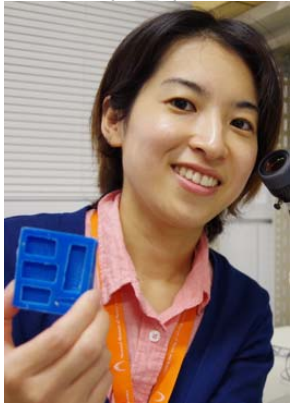



ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI プログラム概要

課題番号	19HT0106	分野	地学, 生物	キーワード	古生物, 化石
研究機関名	国立科学博物館				
プログラム名	君は、レプリカのホントを知っているか？超高精度の化石レプリカをつかって、哺乳類の進化を探ろう。				
先生(代表者)	木村由莉(きむらゆり)・国立科学博物館 地学研究部 生命進化史研究グループ・研究員				
自己紹介	小さい頃に恐竜発掘の漫画を読んで、古生物学者になりたいと思いました。そんな夢に挑戦しようと思ったのは、高校1年生の時です。いつか恐竜を発見したいという夢は持ちつつも、小さな哺乳類化石にも惹かれ、魅力を引き出そうと哺乳類化石の研究者になりました。現在は、新生代のげっ歯類化石を対象に、環境の変化や生物同士の競争が進化にどのような影響を与えるのか研究しています。				
開催日時・募集対象	中学生の部:2019年9月22日(日)	受講対象者	中学生	募集人数	各15名 (最大20名)
集合場所・時間	国立科学博物館 筑波研究施設			(集合時間)	10:00 開始 (受付は9:30から)
開催会場	国立科学博物館 筑波研究施設 総合研究棟 (注:上野本館ではありません) 住所:〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 (西門[守衛所あり]から入場ください) アクセスマップ URL: http://www.kahaku.go.jp/institution/tsukuba/userguide/index.html				
内 容					
<p>博物館の展示でレプリカを見たとき、「残念、本物じゃないんだ」と思ったことはありませんか？ニセモノと言われがちな化石レプリカですが、研究の過程で作成する化石レプリカの精度はなんと数マイクロメートルレベルにも達します。化石のレプリカは古生物の進化史を読み解くための重要な【研究標本】で、ニセモノではありません。このプログラムでは、レプリカ作成を「レプリカ学」という学問分野としてとらえます。実習では、2つの方法でレプリカを作成し、高精度な方法で作成したレプリカがどれほど正確に実物の形態を写し取っているのか、2つのレプリカを比較して調べてみましょう。</p>					
			←小さな化石のレプリカ作成の過程		

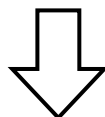
スケジュール	持ち物
9:30-10:00 受付(国立科学博物館 総合研究棟1F ロビー集合)	筆記用具, 昼食 エプロン
10:00-10:15 開会式(オリエンテーション, 科研費とは?)	
10:15-10:45 講義 レプリカ学概論	
10:45-12:30 実験①「動物の歯を型取りしよう」(講師:松井久美子)	
12:30-13:30 昼食	
	特記事項
13:30-14:00 実験②「高精度の化石レプリカを作ろう」	洋服に顔料が付着すると取れないので, 当日は汚れてもよい服装で来てください. 実験④では, 色による形態の観察しやすさについてアンケート回答をお願いしております. どうぞご了承ください.
14:00-14:30 実験③「歯の摩耗痕を超高倍率顕微鏡で見よう」	
14:30-16:00 実験④「レプリカの色」(講師:鈴木苑子)	
16:00-16:20 ディスカッション	
16:20-16:40 修了式	
16:40 終了・解散	

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名 :	研究推進・管理課 (科研費担当) 内尾 (うちお)
住所 :	〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館筑波研究施設
TEL 番号 :	029-853-8901
FAX 番号 :	なし
E-mail :	gaibushikin@kahaku.go.jp
申込締切日 :	2019年 8月 28日(水)
※当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行います。抽選結果は9月2日(月)までにメールにて全員にご連絡します。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
木村由莉	2015/8/28 ~ 2017/3/31	研究活動 スタート 支援	15H06884	小型哺乳類化石を用いて, 進化における生態系ニッチ競争の役割を読み解く



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。